



Yokohama Arts Foundation

令和2年1月15日  
(公財)横浜市芸術文化振興財団  
横浜市民ギャラリーあざみ野

## 注目の写真家・田附勝による待望の「KAKERA」シリーズを、初公開作品を含め一挙に展示 あざみ野フォト・アニュアル

### 田附勝 KAKERA きこえてこなかった、私たちの声



写真家・田附勝がとらえた、縄文土器と新聞の巡りあわせが語る声とは—

現代の写真表現を紹介する展覧会シリーズ「あざみ野フォト・アニュアル」。2019年度の企画展では、田附勝の「KAKERA」シリーズを紹介する個展を開催します。田附勝は、2012年に「写真界の芥川賞」と形容される木村伊兵衛写真賞を写真集『東北』で受賞した注目の写真家です。

「KAKERA」シリーズは、各地の博物館の収蔵庫や発掘現場で保管されていた膨大な資料である縄文土器のかけらを、箱のなかで中敷きや梱包として使用されていた新聞と共に、保管状態そのままに撮影したものです。言語以前の文様が施された土器のかけらを前に、「何も語らないピースが現代に生きる自分たちに語るものがあり、歴史・過去が炙り出される」と田附は言います。縄文時代の土器のかけらと、社会の動向を伝える新聞との組み合わせは、見る者にあたかも考古遺物と歴史の邂逅を目撃するかのような経験をもたらすのではないのでしょうか。

今回展示される作品はすべて本展覧会のために新たにプリントされました。出品作品のほとんどが1mを越える迫力の19点が展示室に並びます。



田附勝 あけましておめでとう 技術の日産 1964年(昭和39年)1月1日 朝日新聞  
／撮影：2018年11月26日 奈良県奈良市

#### 開催概要

【展覧会名】あざみ野フォト・アニュアル 田附勝 KAKERA きこえてこなかった、私たちの声展

【会 期】令和2年1月25日(土)～2月23日(日) 10:00～18:00 ※1月27日(月)休館日

【会 場】横浜市民ギャラリーあざみ野 展示室1

【出品作家】田附勝 (たつきまさる)

【料 金】入場無料

【主 催】横浜市民ギャラリーあざみ野 (公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)

【助 成】公益財団法人朝日新聞文化財団、公益財団法人野村財団

【プリント協力】キヤノン株式会社

【協 力】GALLERY SIDE 2、キリンビール株式会社

会期中は、アーティストトーク他関連イベントを開催します。詳細は添付チラシ、またはホームページ (<https://artazamino.jp/event/photo-2020/>) をご覧ください。

※ぜひ当事業の取材、情報掲載をお願い申し上げます。

取材の際は、事前にご一報ください。広報用画像の提供が可能です。

お問い合わせ先 \*本日は17:30まで在席しております。

横浜市民ギャラリーあざみ野 【公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団】

館長 森井健太郎 担当 佐藤直子、日比谷安希子 TEL: 045-910-5656



あけましておめでとう 技術の遺産  
 1964年(昭和39年)1月1日 朝日新聞  
 (撮影:2018年11月26日 奈良県奈良市)

あざみ野フォト・アニュアル ▼ 田附勝 KA  
 KERA きこえてこ  
 なかった、私たちの声  
 展 ▼ 2020年1月25  
 日(土) ↓ 2月23日(日)  
 横浜市民ギャラリーあ  
 ざみ野展示室1 開場  
 時間: 10時 ↓ 18時 休  
 館日: 1月27日(月)  
 入場無料 主催: 横浜市  
 民ギャラリー  
 あざみ野(公  
 益財団法人横  
 浜市芸術文化  
 振興財団) 助  
 成: 公益財団  
 法人朝日新聞  
 文化財団、公  
 益財団法人野  
 村財団 プリ  
 ント協力: キ  
 ヤノン株式会  
 社 協力: G  
 ALLERY  
 SIDE2、  
 キリンビール  
 株式会社



あざみ野 フォト・アニュアル



あざみ野 (公  
 益財団法人横  
 浜市芸術文化  
 振興財団) 助  
 成: 公益財団  
 法人朝日新聞  
 文化財団、公  
 益財団法人野  
 村財団 プリ  
 ント協力: キ  
 ヤノン株式会  
 社 協力: G  
 ALLERY  
 SIDE2、  
 キリンビール  
 株式会社

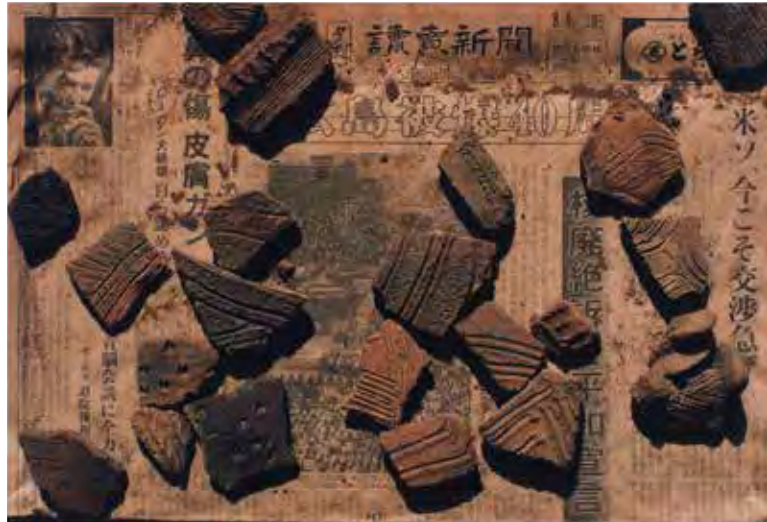




名譽の戦死  
1942年(昭和17年)7月18日  
撮影：2019年3月15日 京都府京都市 朝日新聞



市立市川考古博物館  
撮影：2017年10月11日 千葉県市川市



広島被曝40周年  
1985年(昭和60年)8月6日 読売新聞  
撮影：2017年11月10日 東京都東久留市

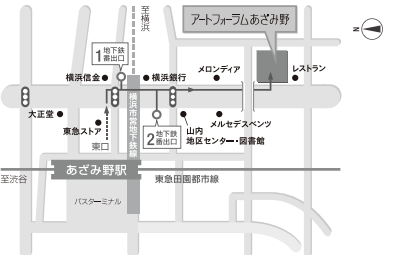
現代の写真表現を紹介するシリーズ「あざみ野フォト・アニエール」2019年度の企画展は、2012年に写真集『東北』で第37回木村伊兵衛写真賞を受賞した注目の写真家、田附勝の個展を開催します▼この展覧会では、2006年から縄文以来のシャーマニズムが息づく東北の風土やこの地に暮らす人々の生活や文化を撮り続けてきた田附が、2012年から撮影を始めた「KAKERU」シリーズを

紹介します。同シリーズは、新潟津南町を皮切りに各地の博物館の収蔵庫や発掘現場で保管されていた膨大な資料である縄文土器のかけらを、箱のなかで中敷きや梱包として使用されていた新聞と共に、保管状態そのままに撮影したものです。言語以前の文様が施された土器のかけらを前に、「何も語らないピクニックが現代に生きる自分たちに語り出される」と田附は言いま

す。縄文時代の土器のかけらと、時々刻々に変転する社会の趨勢を伝える新聞との組み合わせ、見る者にあたかも考古遺物と歴史の邂逅を目撃するかのような経験をもたらすのではないのでしょうか▼本展は、声なきものや名付け得ぬものとの対話から、その歴史や手の痕跡、失われた時間までも捉える、田附のこれまでの写真にも通底する視座を見てとることができる、またとない機会となります。

田附勝(たつき・まさる) 1974年、富山県生まれ。全国のデコラティブラックドライバーを撮影し『DECOTORA』を2007年に発表。2012年に『東北』で第37回木村伊兵衛写真賞を受賞した。その他『その血はまだ赤いのか』、『KURAGARI』、『おわり。』などがある。社会で見過ごされてしまうものに突き動かされ、写真のテーマとして撮影を続けている。

【お問合せ】  
横浜市民ギャラリーあざみ野  
(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)  
〒225-0012 横浜市青葉区あざみ野南1-17-3  
アートフォーラムあざみ野内  
TEL=045-910-5656 FAX=045-910-5674  
http://artazamino.jp/ E-mail=info@artazamino.jp  
twitter: @artazamino  
【交通案内】  
東急田園都市線「あざみ野駅」東口 徒歩5分  
横浜市営地下鉄「あざみ野駅」1・2番出口 徒歩5分  
駐車場=27台(有料・予約制) TEL=045-914-5910  
※詳細な地図や設備はこちらから http://artazamino.jp/barrierfree



同時開催 横浜市所蔵カメラ・写真コレクション展「ダグレオタイプ—記憶する鏡」

アーティスト・トーク  
日時=1月25日(土) 15:00→16:00  
出演=田附勝(出品作家/写真家)  
聞き手=天野太郎(横浜市民ギャラリーあざみ野首席学芸員)  
会場=3階 アトリエ 定員=80名程度  
※参加無料、要事前申込(先着順) ※保育あり(詳細はお問合せください)

対談  
日時=2月22日(土) 15:00→16:30  
出演=田附勝(出品作家/写真家)、石倉敏明(人類学者)  
会場=3階 アトリエ 定員=80名程度  
※参加無料、要事前申込(先着順) ※保育あり(詳細はお問合せください)

アートなピクニック—視覚に障がいがある人となない人が共に楽しむ鑑賞会  
スタッフや参加者同士の会話を通して展示作品を楽しみながら鑑賞するツアーです。  
障がいの有無にかかわらず、どなたでもご参加いただけます。  
日時=2月11日(火・祝) 14:00→16:00 会場=展示室1  
定員=10名 締切=2月4日(火) 必着  
※参加無料、要事前申込(応募者多数の場合抽選)  
※最寄のあざみ野駅までお迎えが必要な方は申込時にご相談ください。  
※保育あり(詳細はお問合せください)

学芸員によるギャラリートーク  
日時=2月9日(日) 14:00→14:30 会場=展示室1  
※参加無料、申込不要(直接会場にお越しください)

イベントのお申込方法 「ホームページの申込みフォーム」「直接来館(アートフォーラムあざみ野2階事務室)」のいずれかでお申込みください。  
●複数のプログラムに参加ご希望の方は、お手数ですが別々にお申込みください。●視覚に障がいがある方で、上記の方法でのお申込みが難しい場合はご相談ください。●提供された個人情報はい回の事業実施のためだけに使用し、その他の目的で使用することはありません。